

いざGW 旅行定番回帰

コロナで我慢大阪へ7倍、東京へ5倍

最大9連休となるゴールデンウィーク(GW)が29日から始まる。新型コロナウイルス対策で続いていたマスク着用ルールが緩和され、国内旅行はコロナ前の水準まで回復が見込まれる。抑制されていた消費意欲を久しぶりの旅行で発散する「リベンジ消費」も期待されるが、鶏卵など原材料価格の高騰で、土産物の生産に影響が出ている。店側は知恵を絞って客を迎え入れる。

「リベンジ消費」期待

■ホテル予約好調

JTBは、アンケート調査などを基に4月25日～5月5日の旅行動向を予測。国内旅行者はコロナ拡大前の2019年(2401万人)と比べ102%の2450万人で、00年以降で最多を見込む。



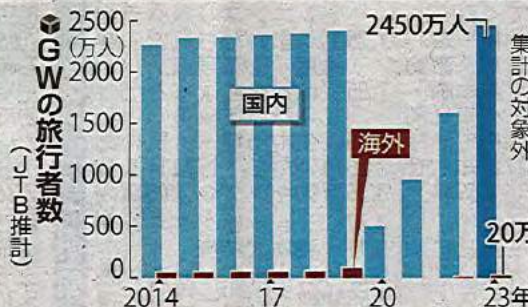
通天閣がいわいで、購入したたこ焼きを食べる観光客。原材料価格の高騰で、値上げを余儀なくされた店もある(27日、大阪市浪速区で)

NEXCO西日本によると、GW期間中の高速道路での渋滞のピークは、下り線は5月3～4日、上り線は3～5日と見込む。JR西日本のまとめでは、山陽新幹線の指定席の予約状況は昨年同期から1.6倍の56万7600席(15日現在)。混雑のピークは下り

GW人気旅行先の販売高の伸びと定番観光スポット

順位	旅行先	販売高の伸び(前年比)
1位	大阪府 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、通天閣	7.7倍
2位	東京都 浅草、スカイツリー	5.1倍
3位	福岡県 博多どんたく港まつり	4倍
4位	神奈川県 鎌倉、箱根	3.5倍
5位	宮城県 日本三景・松島	3.5倍

が3日、上りが6日としている。近畿日本ツーリストが販売高を基にまとめた先行きの別の調査(4月28日～5月8日)では、大阪府が前年同期比の7倍超となり、全国トップの伸び率を記録。約5倍の東京都、約4倍の



福岡県と続いた。密で避けられる傾向があった人気テーマパークや観光名所などの定番スポットに行く人が戻っているという。大阪のシンボルタワー・通天閣(大阪市浪速区)の3月の入場者数は約12万人。コロナ禍だった21年の同月と比べ約4倍で、コロナ前の水準までほぼ戻ったといい、担当者は「地域とともに、にぎわいを完全に復活させたい」と話す。

京都府ではホテルの予約が好調だ。京都市観光協会によると、市内の主要ホテルの客室稼働率(3月)は平均で約8割と前年同期比の約2倍に増加。4～5月の予想も約8割という。ホテル予約サイトの価格分析では4月29日の予約価格は

格は前週より2割以上高い2万7540円。昨年9月の1万6202円より1万円以上高くなっている。

■対策緩和後押し

コロナ禍で制限の多かった昨年までとは異なり、マスク着用のルールが3月に緩和された。さらにGW後の5月8日には感染症法上の分類が5類に引き下げられる。こうした動きが外出意欲を後押しする。

■「売り上げ回復を」

行楽地の土産物店は原材料不足や価格の値上がりに悩まされる。農林水産省によると、昨秋以降、26道県で発生した鳥インフルエンザの影響で、採卵鶏は全体の12%に当たる約1770万羽が殺処分され、供給量が減っている。広島市の銘菓「もみじ饅頭」を製造する「にしき堂」(広島市)は卵の仕入れが減り、年明け以降、出荷制限を余儀なくされている。

一方、訪日外国人客数は、昨年10月に政府が水際対策を大幅に緩和してから、コロナ禍前の水準に戻りつつある。日本政府観光局によると、今年3月の訪日外国人客数(推計値)は181万7500人で、19年3月比の65.8%だった。

円安、航空運賃高騰

海外は鈍いまま

海外旅行の動きはまだ鈍い。JTBの調査ではGWの海外旅行者の推計は20万人で、2019年(93万人)の約22%にとどまる。日本旅行業協会(東京)によると、海外旅行の需要

が停滞している主な理由は、円安や航空運賃の高騰による旅行費の上昇がある。ロシアのウクライナ侵略による原油高の影響もある。

情勢を見通すのは難しいが、コロナの分類が5類に引き下げられる5月8日以降に潮目が変わるのではな

ていることを期待したい」と話した。

400光年先最大「紅炎」観測

京大などチーム

地球から約400光年離れた恒星で、観測史上最大級のガス塊「プロミネンス」

際天文学誌に掲載された。プロミネンス噴出は、恒星表面で起る爆発に伴い、温度約1万度のガスが上空へ高速で飛び出す現象。太陽の大規模噴出

V1355」を観測。2020年12月、大規模な爆発を捉え、人工衛星のデータと合わせて解析した。その結果、爆発のエネルギーは、太陽の大規模噴出



川。川の両岸に渡したワイヤに、地元園児が作ったり、家庭で不要になったものを飾り付けている。3)と訪れた前川和紗さん(39)は下で悠々と泳ぐ姿が気持ちよさを話していた。